

塩ビごみ 分別収集から1年



広域3市町から収集された塩ビごみ(右奥)は、この「廃プラドーム」に集められ、破砕機(中央)で細かくされた後(左)処理されます。

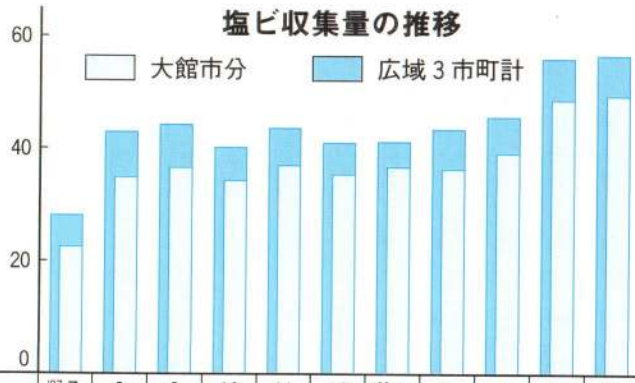
広域第一環境センター(ごみ焼却場)の排出ガスから、国の暫定基準を超えるダイオキシンが検出されたことから始まった塩ビニール系ごみの分別収集。昨年の七月から始まりちょうど一年になります。今回は一年たった現在の状況を拾ってみました。

分別収集が浸透

月別の収集量を表すグラフ(左)を見てわかるとおり、分別収集を実施して以来、確実に収集量が増えていきます。これは、分別の習慣が皆さんに行き渡ってきたことと、環境に対する皆さんの関心の現れではないかと思われまます。

分別収集後間もない、八月に採取した排出ガスの測定結果でさえ、ダイオキシン濃度が分別前の三分の一にまで低下しました。さらに、市では今年三月にごみ焼却場のガス冷却設備を改修し、排出されるダイオキシン濃度を今まで以上に

塩ビ収集量の推移



月	'97 7	8	9	10	11	12	'98 1	2	3	4	5
大館市分	22.5 ¹	34.9	36.6	34.4	37.1	35.5	36.8	36.4	39.2	48.6	49.4
広域3市町計	28.0 ¹	42.9	44.2	40.2	43.6	41.9	41.2	43.4	45.6	55.9	56.5

再度確認を

— 分別収集している塩ビ系6品目 —

- ◎洗剤容器
- ◎化粧品容器
- ◎卵パック
イチゴパック、菓子パック
などの類似品を含む
- ◎合成革類
- ◎食品用トレー
発砲スチロール製及び透明のプラスチック製
- ◎ペットボトル

★塩ビごみを出す場合には、塩ビ専用収集袋(透明・黄色の文字)を使用してください。
★家庭用簡易焼却炉でビニール類を焼却すると、ごみ焼却場の数十倍、数百倍ものダイオキシンが排出されます。家庭ではビニール類を焼却しないようご協力ください。

★塩ビごみの収集は、月2回しか行なっていないと不便を感じていることと想われますが、今のところ収集体制などの関係で増やすことができません。量のかさむものはつぶして保管するなどしてご協力ください。

お願い

塩ビごみを引き受けている業者からお話を伺ったところ、金属類が混じっているという事です。中にはスプレー缶までもが、このようなことは絶対にやめてください。集められたごみは、破砕機で細かく砕かれてから処理されます。金属、ましてやスプレー缶が混じっていたのなら、この破砕する段階で火花が散り、ガスに発火、火災の発生へとつながります。周りは引火しやすい塩ビごみなんですから。「私一人だけなら」、そんな考えは絶対にやめてください。

金属が混じっています

抑えるようにしました。今年度も濃度測定を実施する予定ですが、これらにより、さらに低下するものと思われまます。

今後とも分別収集の意識が薄れることのないようご協力願います。ごみについてのお問い合わせは生活環境課(内線206)へ